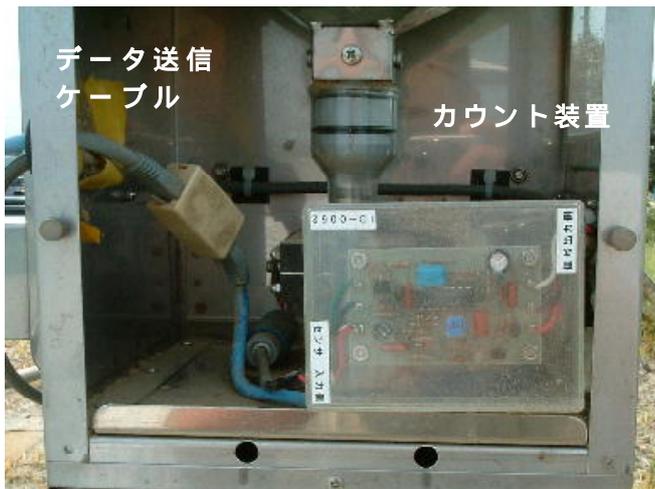


自動カウントフェロモントラップの精度向上

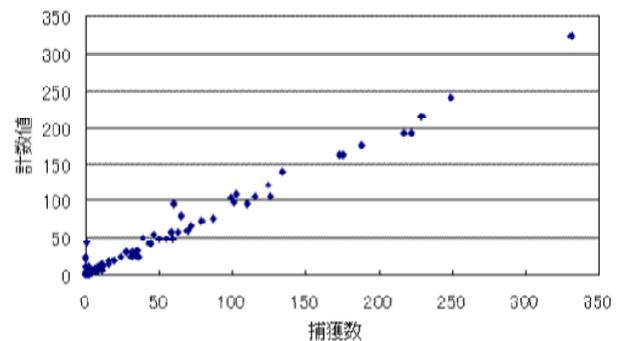
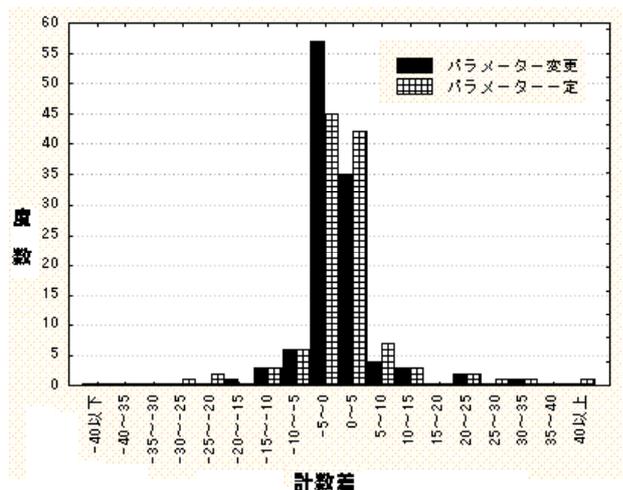
環境に優しい農業を実現するためには、害虫の発生時期や発生量を把握して、将来の発生を予測し、無駄な農薬の使用を減らすことが必要です。

そこで、従来の電撃式自動カウントフェロモントラップの計数方式を赤外線式に変更し、ハスモンヨトウの活動時間や季節に応じてトラップの各種設定時間を調整することにより、計数精度を向上させる技術を開発しました。人手によって害虫を数えていた作業を自動化し、離れた場所に設置したトラップのデータをPHSを使ってリアルタイムで送信できます。送信されたデータは、WWWブラウザで確認することができます。



ほ場に設置した自動カウントフェロモントラップ

捕殺されたハスモンヨトウは、赤外線センサーでカウントされ、データはPHSで送信されます



自動カウントフェロモントラップのハスモンヨトウの捕獲数と計数値の関係
新方式により、計数精度が向上しました